



Beyond KUSS, 2022 !!



夏季休業接近中

中等教育学校最後の夏休みが、来週7月22日(木)から始まります。卒業後のステージに立つ日が近づいています。夏季休業期間に取り組んでおくべきことを記します。しっかり、自分と向き合って、一歩ずつ前進していきましょう。

1 「第1志望」(卒業後のステージ)の設定

「第1志望」が揺らぐと出願が揺らぎ、自分を成長させていく受験にはなりません。進路はみなさん自身が決断・選択するものです。

夏季休業が終了し、登校再開早々に、共通テストの出願準備が始まります。「第1志望」が設定できていないと、受験科目もよくわからず、出願が混乱に向かっていきます。

学校はみなさんの「第1志望」について、合格する可能性よりも、その大学・学部・学科をめざすみなさんの意志を重要な要素として評価しています。そのうえで「第1志望」に向けての道筋について指導していきます。

2 「第1志望」突破のための学習計画

基礎・基本の徹底のためにまとまった時間を使える最後のチャンスです。秋・冬に後悔することないように、夏の学習を計画しましょう。「第1志望」突破に必要な基礎・基本の充実を大切に人が、遠回りに思えても最後の瞬間にジャンプできる人です。

教科・科目の学習状況について自己理解できない人は、夏休みに自分に必要な学習に取り組むことができません。その結果、基礎・基本が不十分なまま受験に近づき、学習に時間を費やしても、思うように実力として定着しない可能性が高いです。夏季休業中に計画的に学習できない人は、共通テスト後の自宅学習期間も学習できない危険性が高いです。

3 リスニングのイヤホン使用、受験上の配慮

共通テストのリスニング時にイヤホンが使用できない人は、ヘッドホン等を使用するために出願時に申請が必要になります。それ以外の受験上の配慮が必要な人も申請が必要です。大学入試センターHP(<https://www.dnc.ac.jp/>)に情報が掲載されています。申請を考えている人は、必ず確認のうえ準備を進めるとともに、担任に申し出てください。

なお、大学入試センターHPに掲載されている『受験案内』冊子は、9月初旬に学校を通じ、みなさんに配付します。個別に請求する必要はありません。

4 体調管理

昨年に続き今年も通常の体調管理に加え、新型コロナウイルス感染症への防疫対策が必要な夏季休業になります。10代の感染場面として、学校以外の塾等の受験産業利用時が多く報告されています。感染防止(防疫)対策を十分に講じてください。

体調管理のためには、規則正しい生活が第一歩です。規則正しい生活を心がけ、健康を維持しましょう。不規則な生活に起因する体調不良は、長引く危険性があります。睡眠・食事を軸とする規則正しい生活を夏季休業中、受験本番で実力を発揮するためには、万全の体調が必要になります。受験は暑い夏を超え、涼しくなる秋、寒さ厳しい冬を越え、春まで続きます。自分の生活をコントロールできるようになりましょう。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

『Beyond KUSS, 2022!』の内容について、SNS等webへのアップや無断使用しないようお願いします。

先輩たちの状況(その6)

◆◇◆ 国公立大学一般選抜(その2) ◆◇◆

7回生の合否状況を「K値」と共通テストの自己採点集計結果を軸にまとめました。このデータは一般選抜受験者のみを対象に作成しています。

神戸大学は前期日程と後期日程の2種類の一般選抜を実施しています。7回生は一般選抜で27名受験し、合格は4名です。「K値」の合格者平均は72.5ですが、それと同等以上の4名が不合格です。しかし、共通テストの自己採点集計結果はどうでしょう。合格者平均は72.5と例年よりも少し高かったです。しかし、それと同等以上で不合格は1名です。「K値」72.5以上の成績は、本校では上位3分の1以内になります。好成绩と言えます。しかし、残念なことに土台となる部分が盤石でなかったため、共通テストで思うような得点できませんでした。基礎・基本に脆弱な部分があると、二次試験に向けての学習を十分に進めることが困難になります。結果的に二次試験でも十分な力を発揮することができず、合格に至りません。

一般論として、共通テスト模試で70%程度得点できている人は、基礎・基本の理解がある一定程度できていると評価できます。この前提となるのは、模試を十分に復習し、「不正解」や「不安正解」そして「偶然正解」の問題・分野を「理解正解」にできている場合です。これを十分にできていない人は、データ上は大丈夫ですが、実態としては大丈夫でない場合です。このようなことが発生しないように、面談で確認もしますし、夏季休業中の学習に取り組んでほしいです。逆に十分に復習し、基礎・基本を理解できている「K値」70の人は、共通テストでも80%以上の得点ができています。現段階で同じような成績状況であったとしても、自分にとって必要な学習を進めることができている人とそうでない人で、大きく結果が変わることを理解し、夏季休業中の学習を進めてください。

省略

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

『Beyond KUSS, 2022!』の内容について、SNS等webへのアップや無断使用しないようお願いします。

東京大学受験者は、基礎・基本の理解が十分できており、共通テストでも実力を発揮しています。同じような実力をもつ受験生が集まる二次試験で合否が分かります。東京大学や京都大学は「第1志望」への「志望力」が高く、学習も十分にできている場合が大多数ですが、最後の瞬間に合否が分かります。京都大学受験者は、「K値」どおりに共通テスト、合否に続いています。一般的にはどこかで逆転が生じるのですが、非常に珍しいケースです。

省略

大阪大学は「K値」65未満の受験者は1名だけです。神戸大学の16名と正反対です。「大阪は難しいから神戸に」という勘違いの理由で出願変更する人がいるためと思われます。この勘違い者の大半は基礎・基本の理解が十分でないため、出願変更しても結果は変わりません。「K値」60前後、それ以下の人も、努力の結果、共通テストでは70%前後は得点できています。70%前後の得点であれば、多くの国公立大学に合格のチャンスはあります。

省略

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

『Beyond KUSS, 2022!』の内容について、SNS等webへのアップや無断使用しないようお願いします。